

## 地域包括支援センターからのお知らせ 健康状態を調査しています

地域包括支援センターでは、高齢者が安心して暮らせるように、町内2カ所の在宅介護支援センターと連携して、皆さんの健康状態や生活状態を把握するための調査を行っています。

地域包括支援センターと在宅介護支援センターの職員が、皆さんのお宅を訪問しますので、どんなことでもお気軽にご相談ください。

なお、新型コロナウイルス感染症予防のため、電話で調査を行うこともあります。電話をするときは、次の職員が「地域包括支援センター（または在宅介護支援センター）の〇〇です」と伝え、調査を行います。

下記の職員以外が調査を行うことはありません。  
☎健康福祉課☎66-2111内線157、158、159

地域包括支援センター		在宅介護支援センター	
	工藤 希真恵 主任保健師		野里 夕佳 主任保健師
	橋場 翔 社会福祉士		大平 典子 主任保健師
	峠 晃希 主事補		大峠 久美子 介護支援専門員
			菊地 奈緒 相談員

**私たちに  
ご相談ください**

## 健康いわて21プラン推進協議会 公募委員を募集します

健康いわて21プラン推進協議会では、協議会の運営に広く県民の意見を反映させるため、公募委員を募集します。

【募集人員】1人

【応募できる人】次の各要件をすべて満たす人

- ①県内に住所を有する満20歳以上（令和2年4月1日現在）の人で、健康づくりの推進に熱意がある人
- ②公務員および保健、医療、福祉の業務に職業として従事していない人
- ③盛岡市で開催する協議会に年1～2回程度出席できる人

【業務内容】健康いわて21プランの推進や計画の評価、見直しに関して意見や提言を述べる

【委員任期】2年

【提出締切】6月22日(月)16時まで

☎岩手県保健福祉部健康保険課

〒020-8570盛岡市内丸10番1号

☎019-629-5468、メール AD0003@pref.iwate.jp

## 岩手県精神保健福祉審議会 委員の一部を公募します

岩手県精神保健福祉審議会は、精神保健福祉に関する事項の調査審議などを目的に県が設置した機関です。審議会の運営に広く県民の意見を反映させるため、委員の一部を公募します。

【公募委員】1人

- 【応募できる人】①県内に住所を有する人で、公務員および保健、福祉、医療の業務に職業として従事していない人
- ②盛岡市で開催する協議会に年1～2回程度出席できる人

【業務内容】審議会に出席し、精神保健福祉に関することについて、意見や提言を述べる

【委員任期】7月1日から令和5年6月30日まで

【応募期限】6月12日(金)

☎岩手県保健福祉部障がい保健福祉課こころの支援担当

〒020-8570盛岡市内丸10番1号

☎019-629-5450、メール AD0006@pref.iwate.jp

## 健康な歯を保ち ハチマルニイマル

# 8020を目指しましょう！



### Q 8020（ハチマルニイマル）運動とは？

「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。80歳という標的年齢が設定されているため、高齢者の歯科保健対策と受け取られやすい面もありますが、8020を達成するためには、すべての年代で健康な歯を保つことが必要です。

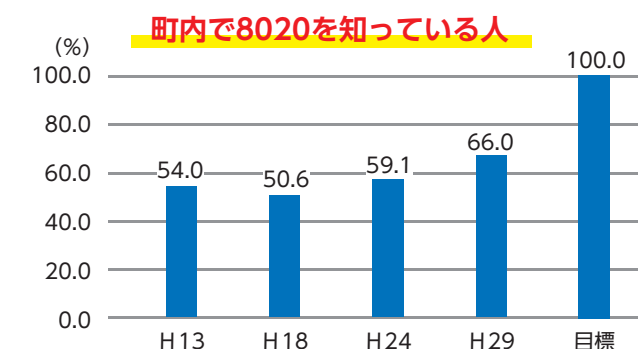
また、仮に8020を達成できなかった人も、しっかりと噛み合い、きちんと噛むことができる義歯（入れ歯）などを入れて口の中の状態を良好に保つことで、20本あるのと同程度の効果が得られるため、今から8020を目指していきましょう。

### Q 30年たった8020運動、その成果は？

8020運動は1989年(平成元年)に始まり、30年が経過しました。町民のなかで8020運動を知っている人は、調査を始めた平成13年度の54%に比べ10%ほど多くなりましたが、この20年ほどで10%の増加は、歯への関心が町民全体にまだまだいきわたっていないと考えられます。

近年「たくさんの歯を残すことが健康である」と科学的に証明されてきました。歯を失うことで、栄養の吸収が妨げられたり、運動能力が低下したり、認知症を進行させるなどのリスクが

高まります。また、歯周病になると糖尿病の原因である血糖のコントロールが悪くなるともいわれ、歯の健康は全身の健康に大きく影響しています。



### ▶ 節目年齢に無料クーポン券をお届けします

町では、町内の歯科医師と連携し、生涯を通じて噛むことができる健康な口腔環境を維持・増進させ、豊かな人生を送れるように無料歯科健診を実施しています。

節目年齢(20、30、40、50、60、65、70、80歳)の誕生日に無料クーポン券が届きますので、受診を希望する歯科医院に予約のうえ、ご利用ください。

☎健康福祉課☎66-2111内線154

## ありがとうございます

## 感染症対策に多くの方々から寄贈いただきました

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に向けて、町には、さまざまな方からたくさんのマスクや除菌用品が寄贈されました。

届けられたマスクなどは、町内の子どもたちや病院、会議などで活用し、感染症対策に役立てています。

町へ寄贈いただいた皆さまをご紹介します。 【5月25日現在】

寄贈者	内容	寄贈者	内容
(株) 菅文	マスク6,000枚	ネットトヨタ岩手(株)	マスク 100枚
田野畑村	// 5,000枚	阿部多津子さん	手作りマスク
いわて不動産(株)	// 2,000枚	虫の相談所 夢志	消毒用アルコール 34ℓ
ミドリアパレル中央(株)	// 1,600枚		
日本風力開発(株)	// 1,000枚	(株)ホリバ電工	マスク1,000枚 消毒液 除菌ブロッカー
(有)ダスキン二戸	マスク1,000枚		